

としよかん宇治

No. 39

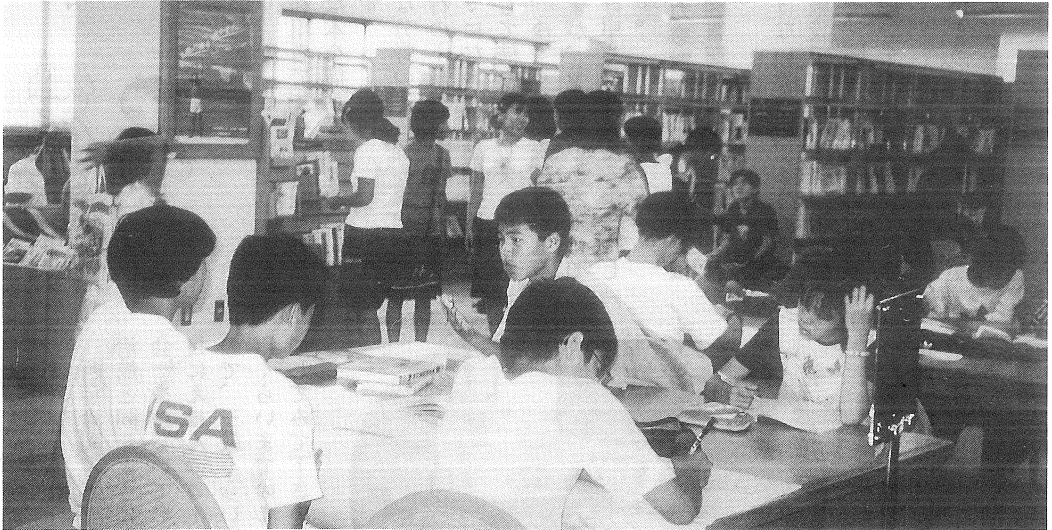
1997年12月1日発行

宇治市中央図書館
〒611 宇治市折居台1-1
0774 (20) 1511

宇治市東宇治図書館
〒611 宇治市五ヶ庄三番割36-5
0774 (32) 2232

宇治市西宇治図書館
〒611 宇治市小倉町山際63-1
西小倉地域福祉センター3階
0774 (22) 8240

西宇治図書館が誕生しました!!



夏休みでにぎわう西宇治図書館

今年六月に、宇治市で二つ目の分館として西宇治図書館がオープンしました。場所は、近鉄小倉駅から西へ徒歩約一〇分、西小倉地域福祉センターの三階です。

開館後は予想どおりの盛況ぶり、人口の多いこの地域で今までどんなに待ち望まれていたかが、ひしひしと伝わってきました。

「とても、明るくてゆったりしている」と、来館者の第一印象も好評でした。

カウンターでも、「近くにできて本当にうれしい」と次々に声をかけてくださいます。

移動図書館「そよかぜ号」でおなじみの小学生たちも、連れ立ってやって来て書架に並んだ本に目を輝かせて、せっせと選んでいます。身近にできたことにより、初めて図書館を訪れ利用した人も多く、新規登録者数は六月だけで一七〇〇人を超えました。

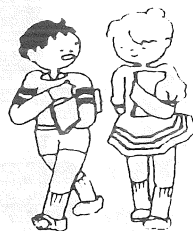
また、開館にあたり貸出しだけでなく、館内でもゆっくりと読書を楽しんでいただける様に、書架や壁際のちよっとしたスペースに椅子をたくさん置きました。いつも良く利用されています。特に、階下の福祉センターのサービスと一緒に図書館を利用される高齢者の方にとっても、くつろいでいただける場となっております。併せて、赤ちゃんから高齢者までの幅広い世代間交流が、図書館のなかで本を通じて自然にでき上がっていく様子が思われます。図書館来館者も福祉サービスの場面に出席することが多く、併設ならではの福祉への理解が深まることもあるでしょう。

最後に、この図書館が皆さまの生涯学習の支えとなり、暮らしに役立ち、読書の楽しみに出会える場として親しんで頂けることを願っています。ぜひ、気軽にお立ち寄り下さい。

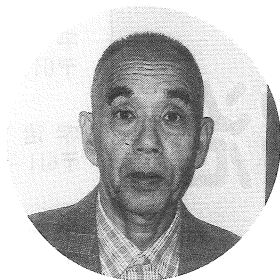
《利用者インタビュー》

西宇治図書館は

いかがですか？



西宇治図書館から徒歩五分程の所にお住まいの吉広修さんは、図書館に足をはこぶのが日課になっているとおっしゃいます。図書館をどのように利用されているのか、インタビューさせていただきました。



新聞が何紙もあるので、楽しんで目をとっています。興味深い所はコピーをとって収集しています。

二歳の孫を含めて家族全員が、

図書館利用者です。みんなそれぞれ好きな本を借りて楽しんでるようです。

色々な分野の本を読みますが、海外旅行の下調べをしたり、テレビドラマになった、話題の原作本を予約して借りたりしました。ふだんは、ゆっくりと読書をする方なのですが、予約者のある本はできるだけ早く読み終えるようにしています。

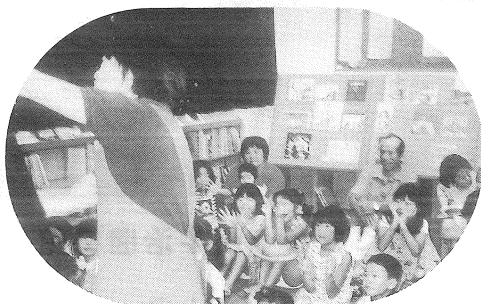
ご協力感謝します。それでは最後に図書館に何かご要望があれば。

要望はないですが、こういった公共の施設では秩序を保つのがたいへんで、図書館の人の苦勞も多いかと思います。頑張って下さい。

ありがとうございます。これからもどんどん図書館をご利用ください。

お知らせとご案内

西宇治図書館でも中央館・東宇治館と同じように毎月『おはなし会』をひらいています。第三水曜日にえほんのコーナーで行いますので、三歳くらいから小学校低学年くらいまでのこどもたちは、参加してみてください。



8月のおはなし会は夏休み中ということもあって大盛況でした。

図書館の休館日は全館共通で、毎週月曜日、月の最後の日、祝日、年末年始となっています。

また図書館が閉まっている時にご利用いただく『本の返却ポスト』は一階入口自動ドアの右側、壁に

ついています。(貸出券は入れないで下さい)。
貸出券は宇治市の図書館三館と移動図書館『そよかぜ号』と共通で使用いただけます。またどの館の本でも借りたり、返したりできます。

おねがい

西宇治図書館は、西小倉地域福祉センターの三階にあります。この建物ははきものをぬいで利用していただくようになっていきます。図書館に来られる方も一階入口で必ず靴をぬいで上がって下さいませ。よろしくお願いいたします。



西宇治図書館スタッフです。よろしく!



東宇治図書館では去る十一月七日、東宇治コミュニティセンターにおいて、「東宇治の歴史と文化」(古代から近代まで)をテーマに開館五周年並びに読書週間記念講演会を開催しました。講師は、宇治市文化財愛護協会理事・若原英式先生で、王朝文化までの古代を春、源平の争いから関ヶ原の戦いまでの中世を夏、その後、江戸

東宇治図書館

**開館五周年・
読書週間記念講演会を
開催**

中央図書館では、十月二十九日と十一月五日の連続講座として、地元で儀式作法を研究されている岩上力さんの講演を開催しました。読書週間の記念講座として企画したもので、市民約五十人が参加されました。

講座のテーマは、「京のあたりまえ——冠婚葬祭の儀式作法」で、岩上さんは京都に伝え続けられてきた儀式作法の数々を、私たちの暮らしの中でどのように生かして



**読書週間
記念講座**

中央図書館

時代を売りの秋、明治期以降を冬から再び春へ、のイメージでたとえられ、わかりやすく、また興味のある講演をしていただきました。

当日は身近な郷土の歴史を学ぼうと約七〇名の方が参加され、講演後、「今まで知らなかった東宇治の歴史がよくわかった」「今日のような講演会をまた開催してほしい」などの声が多く寄せられました。

東宇治図書館ではこの講演会に合わせて、「本でたどるふるさと宇治」と題して十一月末まで郷土の本の展示と貸出を行いました。

クリスマス会のご案内



図書館では下記の日程で、「クリスマス会」を開きます。子供さん、お孫さん連れて、また近所の子供さんもお誘いあわせの上、いらして下さい。お話の聞ける子供さんなら何才からでも結構です。

楽しい催し物をたくさん用意してお待ちしています。



中央図書館

日 時…12月17日(水) 3時から4時



西宇治図書館

日 時…12月17日(水) 3時から3時半



東宇治図書館

日 時…12月24日(水) 3時から4時



いけばいいのかを、ユーモアをまじえて話されました。

参加された市民の方から多くの質問も寄せられ、好評でした。



郷土のはなし

肩切地蔵

宇治の南に白川という、静かなたたずまいの集落があります。宇治から白川へ行くには、市役所前の市道か、宇治川ライン沿いの道があります。古くは、善法・宇治東山を越えて白川へ行く道が、よく利用されてきました。

ところで、この旧道に肩切地蔵と呼ばれるお地蔵さんが安置されており、次のような話が伝わっています。

むかし白川にとても碁の好きな寺侍がいました。あまりに強くて、白川には相手になる者がいなくなり、碁をうったため、この道を通って宇治まで通っていました。しかし、この寺侍は、寺に務める身でありながら、この地蔵の前を通っても拝むことはありません。

ある夜、この道を通りかかったこの寺侍は、見なれない若い女性がいるのを見て、こんな夜にこのような女性がいるはずがない、きつと狐か狸が化けて出ているのであろう、と考え、腰の刀を抜いて肩先に切り付け、谷底へ蹴り落とし

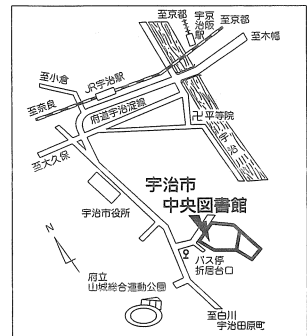
てしまいました。おそらく、このことを村人たちに得意気になって聴いたことでしょう。

しばらくして、この山の持ち主が夢で、この谷底に倒れている地蔵を見て目を覚ましました。不思議に思って探してみると、肩口に切り傷のある地蔵を見つけて、村人たちと一緒に運び上げた、というのです。

ここではじめて、寺侍が切ったのは狐や狸ではなく、地蔵尊であることが分かりました。地蔵尊が、若い女性に化けて、寺侍に碁で遊んでいたのを戒めたのでしょう。今ではほとんど通られなくなつたこの道に、お地蔵が安置されていますが、お参りする人も少なく、忘れ去られようとしているのは、淋しいことですね。

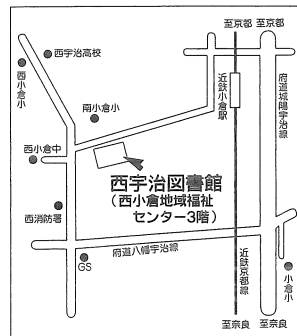


中央図書館

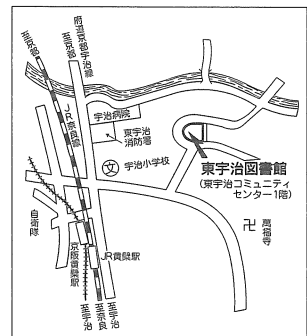


- ### 利用案内
- 市内に在住、または市内に通勤・通学されている方なら、1人5冊3週間（そよかぜ号は約1ヵ月）本が借りられます。貸出券は全館共通です。
 - 図書館は9時から17時まで開館しています。休館日は毎週月曜日、毎月末日、祝日、年末年始です。

西宇治図書館



東宇治図書館



おまぐさ

西宇治図書館が開館して約半年が過ぎました。多くの方に利用いただき、図書館への熱い思いが伝わってきます。「こんな図書館にしてほしい。」「趣味の本や雑誌がもっとたくさんあればいい……。」

さまざまな声をこれからもどんどんお寄せください。

今年も残り少なくなりました。自分だけの読書の世界を楽しまれてはいかがでしょうか。

